

# 研究者紹介



飯田 恭子  
(いida きょうこ)

農林水産政策研究所研究員 国際領域

## ●専門分野

農業・農村振興，EU農政（主にドイツ），ランドスケープ計画，都市計画

## ●略歴

東京都出身。

東北芸術工科大学卒業，ドイツのカッセル大学大学院修了，同学にてDr.-Ing.（博士（工学））を取得。東北芸術工科大学等の研究員，ドイツのLEADER地域のリージョナル・マネージャー，農村振興コンサルタント，持続可能な開発のための教育における地域ネットワークのヘッセン州コーディネーター等を経て，平成30年4月より現職。

## ●現在取り組んでいる主な研究テーマは？

ドイツにおける農業・農村振興について研究しています。

## ●具体的にはどのような研究ですか？

ドイツでは，持続可能な農業・農村振興を目指す取組が展開しています。多様な担い手の連携方法や政策支援のあり方について調査研究し，取組を効果的に実施するための手法を明らかにします。

## ●研究の特色は？

ドイツにおける持続可能な農業・農村振興を目指す取組には，地域ブランドの強化，環境保全型農業の推進，動物愛護，農地や水源の生態系保全，再生可能エネルギーの利用，グリーン・ツーリズムの普及に関するものなどがあります。一方，今日の農村地域では，住民が互いに支援しあう仕組みづくりが求められています。青少年，家族，高齢者の生活支援や多世代交流，多文化共生，農村のモビリティ確保に向けた新交通情報システムの構築といった課題

が山積しています。

こうした課題に取り組む人々は，自らの取組が，地域の状況を改善するのみではなく，例えば地球温暖化防止というような，グローバル化した課題に対峙していることを共通認識しています。多様な立場にある人々が，課題を解決するために，互いの価値観や利害関係を尊重しあいながら，実行可能な目標を定めて連携し，行動しています。

農業・農村振興の取組に限ったことではありませんが，行動すると，更に次の課題が見えてくるものです。私の担う調査研究も，長い年月をかけてそのプロセスを追っていくものとなっています。

## ●今後の抱負は？

今後も，取組の経過を丁寧に調査するとともに，新しい分野やフィールドにも視野を広げたいと考えています。なによりも，日本の農業・農村振興に役立つ情報発信に努めて参ります。

## 農林水産政策研究に関連する学会等の紹介（2018年8月～9月開催）

| 開催大会等                                                                      | 主催                | 開催日時                      | 開催場所       |
|----------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------------------------|------------|
| 第54回 東北農業経済学会・秋田大会<br>大会シンポジウム：「東北水田農業の近未来 パート2 一攻めの農業と地域農業を俯瞰する」（仮）       | 東北農業経済学会          | 2018年8月23日（木）<br>～25日（土）  | 秋田県庁第二庁舎   |
| 共生社会システム学会2018年度大会<br>大会テーマ：「日本型アニマルウェルフェアの展開を目指してー消費者と生産者が共生するフードビジネスの展望」 | 共生社会システム学会        | 2018年8月25日（土）             | 日本獣医生命科学大学 |
| 平成30年度日本農業経営学会研究大会<br>テーマ：農業経営における経営戦略の実証的検討ー先進事例にみる経営戦略の実態と適用可能性ー         | 日本農業経営学会          | 2018年8月31日（金）<br>～9月2日（日） | 筑波大学大学会館   |
| 日本オペレーションズ・リサーチ学会<br>2018年秋季シンポジウム（第79回）<br>テーマ「社会に浸透・拡大するAIとOR」           | 日本オペレーションズ・リサーチ学会 | 2018年9月5日（水）              | 名古屋市立大学    |